

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都府議会議員 **西野さち子** です！

発行：2021年12月19日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel.:075(611)9135 FAX:075(602)9117



# 市民の暮らしと営業を支える予算に

## 共産党市議団が予算要望書を提出



日本共産党市議会議員団 18 人は、行財政局長に対し来年度予算編成に向けての要望書を提出しました。その後、岡田副市長と懇談をしました。要望書の主な内容は「消費税 10 %増税による景気悪化に加え、新型コロナウイルスによる営業悪化が重なっているにもかかわらず、国の支援は全く不十分なため、倒産・廃業が増大しています。中小零細業者に対して、固定費の補助など抜本的な直接支援が求められています。

一方、市長は財政危機を理由に、行財政改革計画を発表しました。市独自の施策を見直すとして市民に喜ばれていた敬老乗車証制度の改悪や学童保育利用料への受益者負担を持ち込む等、公共サービスの後退をすすめています。市民生活の疲弊を招くこととなります。」として「堀川・油小路地下バイパストンネルや北陸新幹線延伸等を引き続き進めようとしています。市民の暮らしや中小零細業者の経営が深刻な状況の中で、本市の大型公共工事は抜本的な見直しが必要です。さらに、北山エリア整備計画では、京都府と一体となって、市の都市計画の規制に反する大規模な集客施設の建設計画を進めています。これらの京都の景観と環境を壊す計画は見直すべきです。市民の暮らしと営業をしっかりと支える予算となるよう求めます。」

### 議員日誌

## 「将来が見える農業政策こそ必要」伏見の農家を視察しました

京都市は国の方針に忠実に従って、インターチェンジの周辺に大規模な物流施設などを呼び込む計画をしています。最初に地域指定されたのが、向島の宇治川以南で1号線の周辺です。家族3代にわたって農業をされている方からは「土壌の改良などの努力をして、優良農地のはず。なぜ優良農地をつぶして物流センターをつくる必要があるのか。不動産業者が農地を買いあさっている。淀の聖護院大根は京野菜。コメも暴落して大変。農業は第一次産業、将来が見える農業政策こそ必要だ」と訴えられました。共産党市議会議員団が視察し聞き取りをしました。農業を守る立場で議会でも議論をしていきます。



### 醍醐陀羅谷産廃問題で府と懇談

西野市議は山根市議や水谷府議、宇治市議、地元大津市自治会長さんや森林組合長さんたちとともに、醍醐陀羅谷に違法に持ち込まれている産廃問題について、京都府と懇談をしました。

醍醐陀羅谷はエコランド音羽の杜の大津市側にあり、伏見区の一部です。自然豊かな場所にお寺をつくる言って産廃を持ち込んでいます。伏見土木事務所が管理する千丈川の護岸には産廃の入ったフレコンバッグが積み上げられています。いくつものフレコンバッグは破れ、今にも崩れかけています。産廃が崩れて川をせき止めれば、大変なことになります。周辺の宇治市側には土砂が持ち込まれ、大規模な盛土があります。熱海の災害は他人ごとではありません。強い指導を求めました。



産廃が入った袋が破れて崩れかけている



### 来年度からの保育料値上げを止めた！

多くの市民の皆さんから反対意見が寄せられていた保育料の値上げについて、11月市会の答弁で来年4月からの値上げについては実行しないことを表明しました。

運動の成果です。行財政改革計画で市民負担増を進める市政に対し、更に声を上げましょう！

